クロス・レター

旭川赤十字病院

第1号

旭川赤十字病院広報委員会 発行

ノロウィルス感染Q&A

Q1. どのように感染しますか？

ノロウィルスの感染経路には、調理する人が感染しており、その人の手指を介して汚染された食物を食べた場合や、感染者の便や吐物及びそれらに汚染された物を触った手から口に入る場合があります。また嘔吐物から舞い散る粒子を吸い込み食べてしまうことや、嘔吐物や下痢の処理が適切に行われず、残ったウィルスが掃除で舞い上がり吸い込んで感染する経路もあります。

Q2. ノロウィルスの流行時期と予防法は？

ノロウィルスは 20℃の環境下で約 4 週間、4℃で 60 日間、37℃で1日生存し、11 月～3 月の寒い時期に流行します。現在予防ワクチンはありません。手に付着したウィルスを洗い流すことが予防の一つになるため、流水と石鹸を用いた手洗いとうがいを心がけましょう。

Q3. ノロウィルスに感染した場合、いつごろからどのような症状が出ますか？

感染した場合、約 15 時間～48 時間で症状が出始めます。主な症状は、嘔吐と下痢で嘔吐か下痢どちらかの症状のみの場合や発熱も伴う場合、全ての症状がある場合など個人差があります。症状は 3 日程度でおさまります。

Q4. 便や吐物で汚れた衣類や寝具はどのように洗濯したら良いですか？

家族の洗濯とは別にし、塩素系漂白剤に 1 時間漬けおきしその後洗濯します。

Q5. 室内で嘔吐した場合は、どのように対処したら良いですか？

特に吐物の後片付けをした人が感染を受けやすく注意が必要です。部屋を換気しマスクを着用し吸い込みを防止することが重要です。ビニール手袋（捨ててよいもの）があれば着用しましょう。吐物には、新聞紙等をかぶせ飛び散らないよう片付け、家庭用塩素系消毒剤（濃度5%のハイター・ミルトンではキャップ半分、10ml を 500ml の水でうすめます）で吐物周辺を広めに紙タオルか雑巾で拭き取って下さい。吐物や使用した雑巾、手袋はビニール袋に封じ込めしっかり口を閉じ捨てます。

※嘔吐や下痢で汚染された部分から、壁も含め広く拭き取ります。ウィルスが付着し乾燥すると空気にただよい感染することがあります。

Q6. 家族に感染者が発生した場合の対処は？

症状のある人が使用したトイレの便座・流しの蛇口・ドアノブ等を使用後消毒しましょう。家庭用塩素系消毒剤（濃度約5%）キャップ半分（約10ml）を1Lの水で薄めたものを用います。

お風呂は最後とし症状のある間はシャワーとしましょう。

タオルの共用は避けましょう。

症状のある人は調理を避け、調理をしなければならない場合は加熱調理（85℃分以上）とします。

Q7. 症状がおさまれば他の人へ感染させることはないですか？

ノロウィルス感染の場合、症状が出てから約 2 週間は便の中にウィルスが排泄されます。その間は、症状がおさまっても他の人へ感染させる可能性があります。

Q8. ノロウィルスの検査はどのように受けられますか？

当院の場合は消化器内科を受診して下さい。便を提出することで検査ができます。

■理念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し、質の高い医療を提供します

■基本方針

1．患者様の人権と意思を尊重した病院環境を造ります
2．急性期医療を中心にして診療を進めます
3．救急医療の充実に努めます
4．地域の医療機関等との連携を推進します
5．国内外の災害時の医療活動に貢献します
6．職員の教育、研修を充実させます
7．健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

■私たちは患者さまの権利を尊重します

1．適切な医療を受ける権利
2．医療に関して知る権利
3．医療行為を自分で選ぶ権利
4．プライバシーを保証される権利
5．人権を尊重される権利